

2020 年 12 月 28 日

大矢担当「占領下の教育」構成案

1. 戦時体制下の教育、国民学校、教育体制など

敗戦と玉音放送、終戦後の学校教育の状況、新教育への模索、日本側の自主的改革（墨塗教科書など）、食糧難と学校、

北海道進駐 軍政部の成立とその組織（民間（情報）教育課員など） GHQの四大指令
ご真影・教育勅語の奉還 教職適格審査

（（教育基本法の制定、新しい教育法体系（学校教育法、など）→さらっと流す程度

2. 軍政部の活動

学校視察（摘発型から指導援助型へ）、新制中学校の新設と新制高等学校の再編成（転用）
（ニブロ）、高校選抜の方法と通学区域問題（ガスタフソン）、教育委員会選挙の啓蒙施策
軍政部指定モデルスクール（一条中学校）への指導

掲載する史料案 →2019 年後期の資料調査で大幅な変更がありますが、体の調子が悪く、追加分を掲載できません。お許してください。

進駐にそなえて① 「平静・毅然たる態度で 連合軍に接せよ 婦女子は慎め、みだらな服装」『北海道新聞』1945 年 8 月 23 日 2 面

進駐に備えて② 「道路を綺麗に 学童が清掃作業」『道新』1945 年 10 月 3 日 2 面

民間（情報）教育課員一覧 大矢一人「北海道地方（区）軍政（民事）部民間教育課の人事」『藤女子大学・藤女子短期大学紀要』第 36 号 188～189 頁 1999 年

（できれば、どこかの学校の『学校日誌』を使って、休校の状況を記したい）

日本側関係機関と軍政部の折衝 松本達夫「オキナワへ行け」『北海道教育経営』昭和 57 年 7 月号、新北海道新聞社

もっとも早い時期（1945 年 10 月 18 日）の学校視察 「旧函館中学校校務日誌」『北海道教育時評』昭和 54 年 11 月号、新北海道教育新報社

軍政部（第 74 軍政中隊？）による学校視察（1946 年 5 月 11 日） 「六三 軍政部マイザー中尉来校刺殺」『北海道旭川東高等学校』開校五十年史』1954 年。

学校視察数 北海道地方（区）軍政部月間活動報告書（MG レポート）より、おおよそ調査可能

教員追放の状況把握 MG レポートの報告（例えば、1947 年 7 月など）

札幌の新制中学校設立と高等学校再編成（ニブロと高田富興市長との面談） 高田富興『市政私記』1961 年 『道新』記事あり（1949 年 3 月 25 日 2 面および 27 日 4 面など）

高校選抜の方法と通学区域問題 「高校入試にガ教育課長勸告 通学区域各中学の生徒

数の比で 選抜試験は廃止すべきだ」『道新』1950年11月5日4面

教育委員会選挙の啓蒙施策① 「淋しい投票ぶり 札幌に拾う選挙風景 軍政部長刺殺」
『道新』1948年10月6日2面

教育委員会選挙の啓蒙施策②「水島、木呂子まず圏内 ゴール寸前、現地の情勢 候補者を十分知れ ガスタフソン課長談話」『道新』1950年11月10日夕1面

一条中学校の教育①（ホームルームシステム） 藤田喜一「モデルスクールでの三年半（1）」『北海道教育の窓』第156号、北海道新聞社 1983年

一条中学校の教育②（週五日制）藤田喜一「同上」

また、私立の小・中学校についての資料も一つは掲載したいと考えております。12月上旬には札幌三育小学校への資料調査を計画しました（ただし、大矢の体の調子が悪く、伊藤さんにかわりに行っていた）。